

形成外科学

責任者：小林 誠一郎 教授

教育成果（アウトカム）：

クリニカルクラークシップ形式に準拠し、外来、病棟、手術室で実際の診療に触れることにより、一般臨床に必要な形成外科の基礎知識に基づく問題解決能力を涵養する。

行動目標（SBOs）：

- * 1. 病歴の聴取法を理解する（患者さんとの接し方、open ended question、closed question の使い方など）。
- * 2. 人工皮膚を用いた縫合実習や手術見学（手洗いして手術に参加）を通じて、皮膚縫合と清潔・不潔を理解した処置ができる。
- * 3. ドップラー血流計、皮下酸素飽和度計を用いた皮膚・皮下組織血流の評価ができる。
- * 4. 顔面骨骨折の解剖に基づく症状を理解し、その診断（視診・触診・画像診断）ができる。
- 5. 四肢・顔面外傷と熱傷、難治性潰瘍などの皮膚・軟部組織損傷の診断・初期治療について説明できる。
- 6. 代表的皮膚、軟部腫瘍の診断・治療法について説明できる。
- 7. 先天異常に対する診断・治療法とinformed consentの概要を説明できる。

特に留意すべき注意事項：

1. 形成外科の患者さんは、体表面に現れている変形の程度以上に精神的苦悩が大きい場合が多いため、言動には十分配慮する。実際の診察は指導医と共に行う。
2. 1週間の実習中にSBOの全ての項目を達成することは難しいと思われるため、不足項目についてはグループ学習で補足すること。また、手術予定の変更などにより実習スケジュールを変更する場合がある。

事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

第5学年臨床実習スケジュール[形成外科学]

[第1週]

指導医師名：①小林誠一郎教授 ②柏克彦特任教授 ③木村裕明特任准教授 ④本多孝之助教 ⑤柏谷元助教 ⑥工藤信助教 ⑦長尾宗朝助教
⑧安岡智之助教 ⑨新井雪彦助教 ⑩本庄省五客員准教授 ⑪箱崎美香非常勤講師 ⑫樋口浩文非常勤講師

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	オリエンテーション、受持ち患者 割り振り、外来診察（病歴聴取の 要点理解） [場 所] [外来] [指導医] ③⑥⑩	外来診察・画像診断 [外来] ③⑥	画像診断、縫合・消毒実習、レー ザー治療 [病棟・外来] ③⑥⑧	受持ち患者診察 [病棟] ③⑥⑧
火	手術室実習（受け持ち患者助手） [場 所] [手術室] [指導医] ②④⑤⑥⑦⑧⑨	手術室実習（受け持ち患者助手） [手術室] ②④⑤⑥⑦⑧⑨	手術室実習（受け持ち患者助手） [手術室] ②④⑤⑥⑦⑧⑨	手術室実習（受け持ち患者助 手） [手術室] ②④⑤⑥⑦⑧⑨
水	外来診察（病歴聴取の要点）、患 者創処置の実際 [場 所] [外来] [指導医] ①②③④	外来診察（病歴聴取の要点）、患 者創処置の実際 [外来] ①②③④	病歴聴取法の評価、鼻咽腔ファイ バー検査、組織血流評価法、レー ザー治療 [病棟] ③④⑤⑥⑦⑧⑨	鼻咽腔ファイバー検査、組織血 流評価法、レーザー治療 [病棟] ③④⑤⑥⑦⑧⑨
木	外来・病棟処置 [場 所] [外来・病棟] [指導医] ⑤⑦⑨	総回診 [病棟] ①⑤⑦⑨	縫合・消毒実習、受け持ち患者診 察 [病棟] ⑤⑦⑨	縫合・消毒テスト、組織血流評 価法の修得度チェック [病棟] ⑤⑦⑨
金	手術室実習 [場 所] [手術室] [指導医] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨	手術室実習 [手術室] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨	手術室実習 [手術室] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨	まとめ試問 [医局又は病棟カンファランス室] ①②③④⑤⑥

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
実習用機械	オペスキセット	6台	縫合・切開練習
実習用機械	唇裂・口蓋裂シリコンモデル	1台	唇裂・口蓋裂の説明
実習用機械	頭蓋骨モデル	1台	顔面症例の説明・講義(B.S.T)
診断用機械	鼻咽腔ファイバー	1台	鼻咽腔閉鎖機能不全の診断
診断用機械	ダイレーザー治療装置	1台	血管腫の治療
診断用機械	コダックプロジェクター	1台	症例の説明・講義(B.S.T)用
診断用機械	皮膚良性色素性疾患用レーザー	1台	異常色素細胞の組織学的検討
診断用機械	皮下酸素飽和度計	1台	皮弁血流の検討
診断用機械	下顎骨延長装置(マルチガイド 2:62-01000)	1台	臨床実習における説明
診断用機械	ルーペライトセット(1H0 09560)	1台	臨床実習における術野の説明
診断用機械	ドップラー血流計	1台	血流測定
視聴覚用機械	パソコン一式(PowerMacG5)	1台	症例プレゼンテーション
視聴覚用機械	ノートパソコン(FMVシリーズ)	1台	症例プレゼンテーション
視聴覚用機械	PC一式(VAIO TypesVGN-SZ72B/B)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	ノートパソコン(MA701J/A)	1台	〃
視聴覚用機械	スキャナー一式(ES-10000G)	1台	〃
視聴覚用機械	シネマHDディスプレイ(23インチ N9178J/A)	1台	〃
視聴覚用機械	デジタルカメラ	1台	臨床実習写真の提示
視聴覚用機械	システム生物顕微鏡	一式	臨床実習検鏡
実習用機械	メディビューフレームセット	1台	臨床実習
実習用機械	タブレットPC	1台	ケースプレゼンテーション

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について100点満点で評価する。

1. 出席点：20点
2. 実習評価1(教員による学生評価シートⅠ)：10点
3. 実習評価2(教員による学生評価シートⅡ、レポート、発表・討議)：20点
4. 実習初日試験：25点
5. 国家試験問題形式の口頭試問：25点